

28 趙 純恵 Sune Cho
自らの身体をもって、他者の存在、または現実世界の抵抗感にどう直面し、変化できるのか。その中で生まれる関係の境界を抽出し、提示することを試んでいます。滞在期間中には、これまでの思考の集積と、ここで出会った人達との対話を精製し展示したいと思います。
□1986年東京都生まれ。東京藝術大学先端芸術表現科在籍中。



29 川島亮子 Ryoko Kawashima
インスタレーションというスタイルをとりつつ、立体、映像、写真、ドローイングといった幅広いメディアを扱う。NYKでの滞在から十字・クロスを介し「真理」、「聖域」、「生と死」といった根源に迫る。
□東京都生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修了。



3B Gallery

30 司馬香里 Kaori Shiba
忘れたくない、人、ものなどを油絵に描いています。個人的に思入れのあるものが多く、だいたい、自分には意味があって、観客には意味がないものなのだけれど、その差を縮めることに今は興味があります。
□1983年シアトル生まれ。2007年ロードアイランド・スクール・オブ・デザイングラフィックデザイン科卒業。



31 奥田直人 Naoto Okuda
ライトを組み入れた光る絵画を制作します。大きさは2メートル位のもの。アクリル絵の具で染めていく技法です。9月にスウェーデンの展覧会に参加します。
□東京都小金井市生まれ。武蔵野美術短期大学卒業。



32 東京藝術大学鈴木理策研究室
Tokyo University of the Arts Risaku SUZUKI LAB.
鈴木研究室では、毎年約20名のゼミ生が写真や映像などの視覚的な手法を用いて作品制作をしている。今回、研究室の新たな試みとして、展覧会を開催することを企画。「ポートレート」をテーマとし、1ヶ月半のスタジオ制作、その成果を展覧会として発表する。
参加作家:鈴木理策、有坂亜由夢、安藤留美、金川晋吾、木田あい、鬼頭志帆、小森はるか、西村伊央、野口善子、原田吾郎、藤井遼介、渡部侖
□鈴木理策:1963年和歌山県生まれ。主な展覧会に「熊野 雪 桜」(東京都写真美術館/2007)、「WHITE」(ギャラリー小柳/2009)など。
【イベント】展覧会「私にも隠すものなど何もない」(2010年7月24日～8月5日)



33 廣中 薫 Kaoru Hironaka
<ドローイング日記>を制作。'04～、西日本-関西-関東、短いスパンでの街X街の移動生活を始める。偶然気づいてしまう距離感覚の差違が新鮮となり、「同時代旅行感覚」(新鮮な現代性のスレ?)をモチーフに、プリコラージュ、絵画的実験を試みている。
□鎌倉生まれ。多摩美術大学絵画科油画専攻卒業。



34 木下直人 Naoto Kinoshita
「雲」を詩的にではなく、触覚的に表現する。人間と自然のフシギな距離感を立体、インスタレーションで表現。BankART Studio NYK 3Fの特徴ある空間と戯れ、対峙して作品化する。
□1970年兵庫県生まれ。京都精華大学卒業、マッサナ美術学校 (パルセロナ)



片桐三佳 Mika Katagiri
絵の具の染みから展開する、舟と染みの絵画的ストーリー。シリーズ「Shimi-shimi」最新作「Shimi-shimi Jumbo」を制作。目の前の海を見つめながら。
□1973年兵庫県生まれ。成安造形大学卒業、ラ・リョージュ美術学校 (パルセロナ)



35 佐藤 梢 Kozue Sato
ピンボケや不要な写真を切り刻み制作。マイナスイメージの行為でできた、幼少の頃の原風景。それはやっとなつを得た沢山の写真達で、記憶であり現実である。曖昧な現実からでも綺麗な世界はつくれると想い、つくる。
□1980年千葉県生まれ。2005年多摩美術大学環境デザイン学科卒業。



3C Gallery

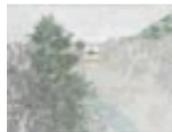
36 鈴木双葉 Futaba Suzuki
「横浜」という自分にとっては「home」とも「foreign」ともいえない第三の場所を題材にミニチュア模型をビデオに撮り、現実-フィクション、愛着-疎外感のようなものが隣り合わせする時空間を映像、立体を用い構築する予定。
□千葉県生まれ。ニューヨーク市立大学ハンターカレッジ美術修士課程修了。



37 フジオカヨシエ Yoshie Fujioka
主に立体、空間の作品。モノがもつモノに与えられた記号性や慣例的認識がテーマになることが多い。あるいは、ただただ空間的な「絵」を描くことも。数年ぶりに制作を再開したところ。
□1972年横浜市生まれ。ロンドン芸術大学チェルシーカレッジ卒業。ロイヤルアカデミースクールズ中退。



38 岡田貞子 Teiko Okada
独特な可笑しみのある物語り空間を創出している。今回は「きのことなど」木のことばかり考えたり、木のまわりをさ迷い描いて、森を作ります。
□1974年大阪生まれ。東京在住。Bゼミ Learning System修了。
【イベント】朗読パフォーマンス「きのことなど」7/31(土)14:00～、8/1(日)16:00～



39 関口佳明 Yoshiaki Sekiguchi・**吉川信雄** NobuoYoshikawa
三木祥子 shoko miki・**梶山こうじ** Koji Kajiyama
関口は、平面・立体・Installation作品を制作。
吉川は、Computerで制作したCG作品を用いたInstallationを制作。
梶山は、光や、様々な素材を用いたInstallationを制作。
三木は、Fair TradeをThemeにしたInstallationを制作。
□関口佳明:埼玉県生まれ。慶応義塾大学卒業。
吉川信雄:群馬県生まれ。セントマーチン美術学校(イギリス)留学。
梶山こうじ:横浜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。
三木祥子:札幌市生まれ。武蔵野美術大学短期大学卒業。



40 戸田祥子 Shoko Toda
風景の中で人が習慣や偶然の間をぬって様々に関係し合う時、寸劇や詩のように、ある世界観を垣間見せることがある。写真ドローイングと映像作品を制作。期間中上映予定。
□1981年東京都生まれ。東京藝術大学院修了。北京中央美術学院留学。



41 紙川千亜妃 Chiaki Kamikawa
不条理なイメージを組み合わせて人間の感情や態度の整合性を問う絵画を発表。今回の滞在では「アイランド・リエノ」という架空の島の宗教観をドローイングや立体作品で表現し、現代の宗教美術を制作する。
□1976年神奈川県生まれ。2007年サンドベルグ・インスティテュート修士課程修了。現在キプロスをベースに活動。



42 藤村 豪 Takeshi Fujimura・**内野清香** Sayaka Uchino
私たちは個々の作品発表とともに、2008年以降教育学研究者を交え、各種学校の授業で作品行為を発表しています。今回、かつて、たった一度起きた出来事を多声を以て振り返り、定めようとする時に姿を現す様々な問題について、私たちが設定する「ある出来事」とその体験から、参加した人々の回想を元に、多声を巡る困難の上に咲く可能性を見出す試みを行います。期間中には「すべての火は火」、「迷いの森」の作品展示を予定。
□藤村 豪:1980年千葉県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業/東京総合写真専門学校卒業。
□内野清香:1980年富山県生まれ。明治大学理工学部卒業/東京総合写真専門学校卒業。



43 山内光枝 Terue Yamauchi
ドローイングや映像を中心に、都市環境や生活環境の変化や現象を基に作品を制作。今回の滞在では、これまでのナメクジまた「リゾーム」を軸とするリサーチを、場所と条件に沿いながら続行し、新たな展開を模索する。
□1982年福岡県生まれ。在住。2006年ロンドン大学・ゴールドスミスカレッジ、BAファインアート卒業。

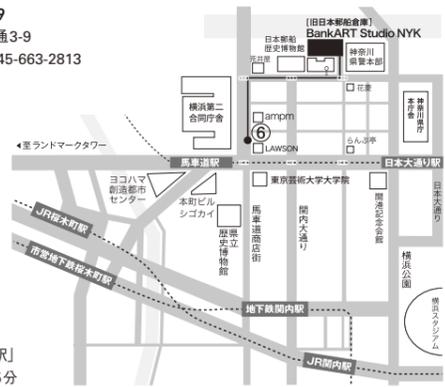


44 藤澤江里子 Eriko Fujisawa
描くことでいろんなことをわかりたい。
□1960年東京都生まれ。武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業、Bゼミスクール卒業。



アーティストトーク@BankART Pub
日程:7月7日(水)・9日(金)・14日(水)・16日(金)・19日(月・祝)・21日(水)・23日(金)・28日(水)
時間:19:00-20:15(19日のみ16:00-18:00)
入場無料(但しドリンクのご注文をお願いします)
出演者等詳細はホームページをご覧ください http://www.bankart1929.com

お問い合わせ BankART1929
〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9
TEL : 045-663-2812 FAX : 045-663-2813
studio@bankart1929.com



アクセス
横浜みなとみらい線「馬車道駅」6出口「赤れんが倉庫口」徒歩5分



Summer Open 2010 BankART AIR Program

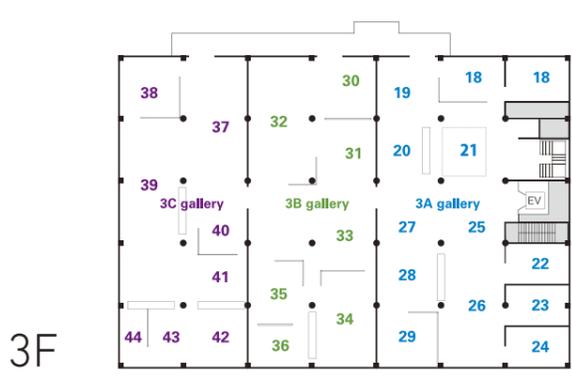
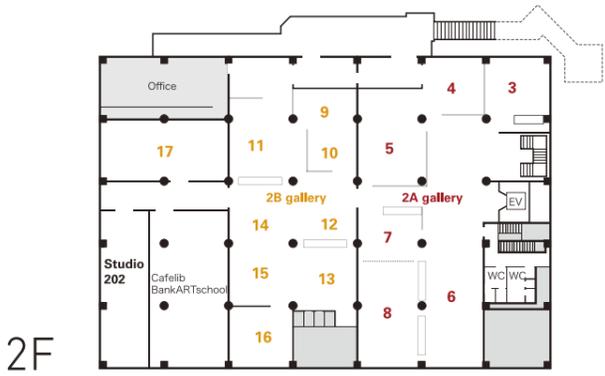
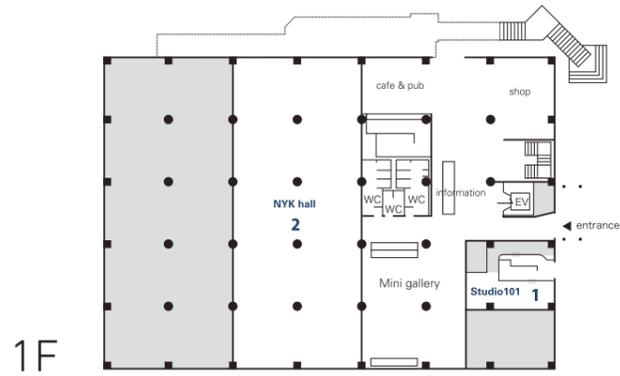
2010年7月30日|金|—8月5日|木| 11:30-19:30 会場:BankART Studio NYK 入場料:無料
オープニングパーティ:7月30日|金| 18:30~20:30 料金:500円

これまでもBankART1929では、AIR(アーティストインレジデンス)のプログラムを年間を通じて行ってきましたが、ここ一年は大きな展覧会が続き、数チームを除いて、アーティストの制作のための空間が確保できませんでした。そういった事情もあり、今回は、4-5月、6-7月の2期編成で全館を使用したスタジオプログラムを組みました。アーティストに創作環境を低廉で提供し、街にアーティストを招き、ともに育ち、発信していくという主旨は、変わりありません。

4-5月期のオープンスタジオ「Spring Open」に引き続き、6-7月期のオープンスタジオ「Summer Open 2010」を開催致します。今回は前回にもまして、45組の方々の成果発表です。といっても、普段の制作風景を見ていただくというのが主で、展示としての完成度を目指すものではありません。アーティストの生きいきとした制作現場をご覧になり、交流していただければと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

主催: BankART1929 共催:横浜市 APEC・創造都市事業本部

Summer Open 2010



Studio 101

1 阿部剛士【阿部工房】 Tsuyoshi Abe

技術者を軸足に「都市」「庭園」「建築」「工業」の概念を、工芸・美術の領域で模索していきます。期間中、滞在アーティストからの木工発注その他アシストも受け付けます。
□ 1964年8月15日神奈川県小田原生まれ。北海道東海大学芸術工学部建築学科卒業。



NYK hall

2 COLLOL

2010年3月、NYKホールにて公演を行った演劇作品「このままでそのままでそのままでかみさま」を、韓国・コチャン国際演劇祭への招聘をうけてリクリエーション。旧約聖書「ヨブ記」と村上春樹「ノルウェイの森」をイメージソースとした「こどく」の物語。代表:田口アヤコ
メンバー:江村桂香、角本敦、ハツ田裕美、鈴木順子
□ 田口アヤコ:1975年岩手県盛岡市生まれ。東京大学美学芸術学専修課程卒業。
【イベント】
「このままで、ワークインプログレス 30minutes」7/30(金)20:00
「このままで、ワークインプログレス 65minutes」7/31(土)17:00



2A Gallery

3 タカノ綾 Aya Takano

ドイツのフリーダー・ブルダ美術館(9月)の個展用の作品を作ります。昨年11月のNY・ペール・スカルテッドギャラリーに続き、今年も5月の香港アートフェア、9月のドイツ・フリーダーブルダ美術館、12月の台北・カイカイキキギャラリー、そして来年はオランダのシーボルトハウスと個展が続く。
□ 埼玉県生まれ。多摩美術大学卒業。カイカイキキ所属。



4 栗原亜也子 Ayako Kurihara

2006年より「mind games」というペインティング・パフォーマンスを発表。オセロゲームのイメージで、白と黒の絵の具をスタンプしながら空間に増殖させていく。今回の滞在では「赤ん坊のように」這いつくばって、スタジオの床面にアプローチする。
□ 1974年横浜生まれ。1999年愛知県立芸術大学美術学部油画科卒業。現在、横須賀の「アトリエがけ」が制作の拠点。
【イベント】ブログに制作の様子をアップします
<http://ayakokurihara.blogspot.com/>



5 横山美和 Miwa Yokoyama

都市計画の観点から、都市空間における芸術創造活動について研究する一方、ワークショップを通じて、1分の1の建築教室を武蔵野美術大学ココヤマゼミとして学生と共に活動。
□ 1975年東京都生まれ。東京大学大学院修了。現在、東京都都市持続再生研究センター所属。



西尾聡志 Satoshi Nishio

現在、歴史家、アーティストと共同で「空間と所作」に関する共同研究をしており、BankARTでは、その研究に関係した立体物の制作。
□ 1975年岐阜県生まれ。建築家。武蔵野美術大学卒業後、ロンドンAAスクール在籍。



6 おおば英ゆき Hideyuki Ohba

1.ぼくは誰なんだろう。
2.ぼくは何を見ているんだろう。
3.ぼくは今どこにいるんだろう。
この3つのコンセプトのもと、物質にこだわって作品を制作しています。
□ 北海道生まれ。京都造形芸術大学卒業。



7 nanacamado/ 福田末度加・いしだかなこ

二者が同じ主題を共有しつつ、各々の抱えるテーマをより掘り下げ、最終的に相対するものを目指す<部屋と庭>をメインに、共同制作によるいくつかの単品をサブワークス<きみとぼく>として、絵画、インスタレーション、ドローイング等を制作していく。
□ 福田末度加/東京都生まれ。女子美術大学卒業。いしだかなこ/埼玉県生まれ。女子美術大学卒業。
【イベント】<をもてなし。茶房的な。>7/31(土) 8/1(日)終日。
スタジオに来訪した方に福田といしだが自家製のハーブティー等を無料でふるまう。



8 KITAI LAB : 東京工芸大学工学部建築学科

KITAI LAB :Tokyo Polytechnic Univ, Dept. of Architecture, 都市が活き活きしていることの一つに、人々が街に愛情を持っていることがあります。この気持ちの育てる方法を試しています。今回は2004年より行った世界の移民街調査を対象に作品を制作しています。
代表:鍛佳代子
学生メンバー:須藤周平、阿部奈穂、高橋知也、他20名(他学科含)
□ 都市再生をテーマに研究を行い、移民街調査もその中の一つ。昨年ロッテルダムで同タイトルの作品を発表した。



2B Gallery

9 窪田久美子 Kumiko Kubota

衣服の形を借りた立体作品の制作。変形させることによって意味や機能の再考を試みる。
□ 神奈川県生まれ。Bゼミスクーリングシステム修了。



10 藤原京子 Kyoko Fujiwara

「夢」をコンセプトに、「目をとじている」ぬいぐるみ人形と、人形を使ったインスタレーションの制作を行っています。やわらかな夢の中のようなひっそりと静かな世界。スタジオでは、人形制作、撮影、展示準備作業を行います。
□ 東京都生まれ。東京造形大学造形学部デザイン科染めコース卒業。



11 のりたま NORITAMA

内田美佳 Mika Uchida・廣川裕美子 Yumiko Hirokawa 望月由美 Yumi Mochizuki
鎌倉でともに油彩・テンペラによるルネサンスの絵画技法を学んだ「のりたま」の3人が、横浜BankARTにおき、その古典技法を用いて現代アートに取り組み、それぞれの絵画の世界での新しい展開を試みます。
□ 内田美佳・廣川裕美子・望月由美の3人からなるユニット。BankART AIR Program を機に結成。10月には東京千駄木で3人展を開催予定。



12 坂間真実 Mami Sakama

映像と身体に関する作品を制作。6年前から家族とのパフォーマンス作品を制作。今回はモーリス・ベジャールのバレエ作品「ボレロ」を、家族とのパフォーマンスにて表現する。
□ 静岡県生まれ。東京藝術大学院先端芸術表現学科修了。



13 横田 尚 Nao Yokota

幸せの探求をベースに、女性が潜在的に持つコケットリーや気丈さを肯定的に表情や象徴物で表現して制作しています。滞在中は各所出品用とスタジオ展示用の平面大作を数点、立体も制作します。オープスタジオでは作品展示の他、制作を公開しながら続けます。
□ 群馬県生まれ。神奈川県金沢文庫在任。武蔵野美術大学卒業。



14 寺田 忍 Shinobu Terada

1998年から包帯をマテリアルとしたアート活動を開始。今回は、新宿眼科画廊で開催予定の個展(2010年12月3日～8日)のために、包帯を縫い合わせた「壁」のインスタレーション作品をスタジオにて制作。壁を「崩壊」させる予定。
□ 茨城県取手市生まれ。1998年桑沢デザイン研究所パッケージデザイン研究科卒業。
【イベント】「壁ぶっ壊し」7/30(金)19:30～



15 岩永かおる Kaoru Iwanaga

平面絵画を制作。今年の2月まで自然豊かな山形で制作をしていたため、今までの環境とは違う横浜の中心地で制作を行なう事で見えてくる建物や人物を描きたい。レジデンス期間中は広いアトリエを最大限利用して壁面を埋めるくらの絵画を予定。
□ 横浜市生まれ。2010年東北芸術工科大学洋画コース卒業。



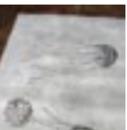
16 Christa Donner クリスタ・ドナー (シカゴ)

ドローイング、インスタレーション、プロジェクトといった方法で、感覚と想像力に基づく人体のオルタナティブなモデルを作り上げる。今回の滞在では、コミュニケーション、翻訳、および人体に関する一連のドローイングについての「雑誌」を制作。横浜文化間の現代の交差点を写真や映像を用いて探検していくプロジェクトはアンドリュウ・ヤンとともに活動する。
□ アメリカニュージャージー州生まれ。シカゴ在住。1998年クレーブランド・インスティテュート・オブ・アート卒業 (B.F.A.)。2005年イリノイ大学卒業 (M.F.A.)。



Andrew Yang アンドリュウ・ヤン (シカゴ)

生物現象と美術、環境と人間の関係について研究している。異文化が混じりあっている横浜で、写真、雑誌、ビデオを使用し、生物学的な生活を探検する。
□ アメリカジョージア州生まれ。シカゴ在住。デューク大学で博士。アート・インスティテュート・オブ・シカゴ准教授。



17 Park Chankook パク・チャンクック (韓国)

Art solution (solution としてのart)を名のっている。展示にあまり向いてないがartistとしてののべることができない時だけやる。今度は横浜創造都市を巡るインタヴュー-performanceを行う。またartist、近くのサラリーマン、住民の人たちと食べ物に関するパフォーマンスをする。"ほら、床を見て"というビデオオ作品もある。
□ 韓国南部生まれ。ソウル在住。1995年京都市立芸術大学大学院卒業。
【イベント】8/4(水)12:00～"中食を楽しく食べる違う方法"という performanceを行う。参加希望者は何か食材を1品お持ちください。



Studio 202

Dance Sanga / 中村恵恵 Megumi Nakamura

1991年～ネザerlandダンスシアターに所属。イリ・キリアンの作品に多数出演。また、コーチとしてパリオペラ座をはじめ、世界中のバレエカンパニーなどで指導している。2007年より横浜に活動拠点を移し、Dance SangaをBankART Studio NYK内に設立。年間レジデンスアーティストとして活動。自身や、BankARTでのデュエット作品で共演した廣田あつ子等の仲間達の創作活動の場として、また、ダンスワークショップなどの開かれた場として展開。
また、空中パフォーマンス+コンテンポラリーダンスのエアリアルダンスカンパニーなどで指導している。代表:渡邊純子がスペースをタイムシェアしている。
□ 1970年横浜市生まれ。舞踊家。2008年度舞踊批評家協会新人賞受賞。
【イベント】Algiid作品「Siro Noir」ショウイング 8/2(月)16:00～、18:30～



3A Gallery

18 横浜コミュニティデザイン・ラボ

Yokohama Community Design LAB.
ヨコハマ経済新聞編集部を設置し、横浜の文化情報を毎日配信。また、横浜のアートシーンをウェブ・モバイル・デジタルサイネージ等で紹介するための体制と情報基盤づくりに取り組みます。
□ 2002年に活動開始。2003年NPO法人化。2004年ヨコハマ経済新聞を創刊。
【イベント】<ハマ経のつくり方>アート記事の取材の裏側を公開した前期に続いて、ソーシャルメディアを中心とした、横浜のアート情報を編集・編成・配信する仕組みづくりやアーティスト自らの情報発信について、ディスカッションを行います。スタジオツアー・Ustream中継も連日開催予定。中継チャンネル等詳細は近日 <http://yokohamalab.jp/> でお知らせします。



19 朝岡あかね Akane Asaoka

1997年のある日、バルセロナ郊外の風力発電施設で作品のための映像を撮影しました。今、3階のスタジオのガラス越しに見える風車が、時間と空間を超えて、何かを告げているように思えてしかありません。
□ 東京生まれ。グルノーブル高等美術学院(仏)卒業。
【イベント】風車見学ツアー、貸切あかいつバスでハマウイングへ。8/5(木)16:00-18:00
参加料(バス代):500円 要予約:info@yokohamalab.jp



20 入江清美 Kiyomi Irie

「人の間」シリーズの延長で、パネルにアクリル等でマチエールに拘り、和紙や人型のコミックパターンをコラージュします。現代人の置かれている状況、大都市に住む我々への現実と未来への警告。ブック・オブジェの制作も予定。
□ 1980年横浜生まれ。2006年多摩美術大学大学院美術研究科油画修了。第3回さとう美術館海外短期留学制度参加(スペイン)。



21 中村 岳 Takeshi Nakamura

日本建築の梁や柱の構造を意識した架空の建築物を制作。北海道に生まれ育ち、日本の伝統文化にカルチャーショックを感じ、まるで異文化に触れるように、自身の中から失われてしまった文化の再構築を目指す。
□ 1966年生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修了。現在九十九里浜を拠点に活動。



22 Studio HAA! エフテル・ブリュン、宇波 恵

ハウス・オブ・アフリカンアート (HAA!)は、アートを通じてアフリカのエネルギーと精神性及びその美を日本に紹介します。HAA!を訪れる来場者はこのようなアフリカからの生の声を通して新しいもの見方や価値観に出会うことでしょう。
□ エフテル・ブリュン:パリ政治学院卒業。世界の医療団の日本支部代表。「大橋可也&ダンスズ」に所属。



23 大見明子 Akiko Ohmi

視覚的に見ているものと内的なイメージを粘土と実写映像を融合させたアニメーションで制作。スタジオでは、表現技法の実験を主に行う。代表作:アニメーション「収集家の散歩」。
□ 1977年奈良県生まれ。2010年東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻卒業。



24 白石 衆 Shu Shiraishi

シカと女の子を題材に生活感情の中から生まれる物語を作り続けています。滞在中は横浜とシカの出会いをテーマに黒船来航の絵画を制作します。オープスタジオでは、シカのオブジェと併せたインスタレーションを展開します。
□ 東京都生まれ。横浜在住。東京造形大学造形学部絵画専攻卒業。



25 牛島智子 Tokomo Ushijima

えっ、と目を疑ったのですが、ランドマークタワーの展望台の窓越しにとんぼが飛んでいるのを見たことがあります。スタジオインしたときは梅雨の晴れ間だけで雲がかかっていた。ときどき水車場を見に行ったりします。観覧車と水車やっば似てるとおもいながらバンカートではそういうのをつくります。
□ 1958年福岡県生まれ。Bゼミスクール卒業。



26 岡田裕子 Hiroko Okada

実験的人形劇団「劇団☆死期」が、BankARTスタジオにて始動します。主宰・岡田裕子。団員は、顧問に会田誠を迎え、アーティスト、主婦、OL、子供など多様な人々が集結。現地で試行錯誤のミーティングを重ねながら、人形を制作、撮影へ。
□ 東京都生まれ。多摩美術大学油画卒業。映像、インスタレーション、絵画等、多岐に渡る表現形態を用いて、現代社会に眼差しを向けた作品群を制作。
【イベント】「劇団☆死期」第一回公開収録(7/30-8/5随時)当日の詳細は岡田裕子ブログへ <http://hirokookada.at.webry.info/>



27 栗田真希 Maki Kurita

空間・そこに存在する身体をテーマにライブハウスや商店街など舞台を飛び出してダンスパフォーマンスを行う。今回の滞在中は「漢字」をテーマにした新作パフォーマンスを制作し発表する。
□ 1984年愛媛県生まれ。2006年大阪体育大学卒業。
【イベント】7/30(金)19:30～20:00、7/31(土)18:00～18:30、8/1(日)13:00～13:30、8/4(水)18:00～18:30、8/5(木)18:30～19:00

